

第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

No. 1001051

政策目標	4 うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 ・維持事業であるため、毎年実施する事業である。
基本施策	20 防犯・交通安全の推進	事業優先度	B	
単位施策	2 交通安全対策の推進	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	道路区画線塗装事業	見直し年度		
事業期間	平成20年度～平成24年度	担当課	10 建設水道課	
事業主体	雄武町	関係課	4 住民生活課	
事業指標	区画線塗装延長		#N/A	
事業目標	39,000 m	ハード/ソフト 事業区分	1 ハード事業	
住民参加	2	関係例規・法令名		
住民協働		関係個別計画名		

全体計画 事業内容		平成 20 年度 事業内容	平成 21 年度 事業内容	平成 22 年度 事業内容	平成 23 年度 事業内容	平成 24 年度 事業内容		
計 画 内 容	○町道の舗装道路で、見えにくくなった中心線や外側線を塗装する。 ・塗装総延長 L=37,540m (住民活動費との予算合算発注事業)	・塗装延長 L=7,800m (塗装総延長 L=18,500 m)	・塗装延長 L=6,340m (塗装総延長 L=15,825 m)	・塗装延長 L=7,800m (塗装総延長 L=18,500 m)	・塗装延長 L=7,800m (塗装総延長 L=18,500 m)	・塗装延長 L=7,800m (塗装総延長 L=18,500 m)		
計 画 事 業 費	事業費(千円)	3,800	800	800	800	600		
財 源 内 訳	国庫支出金	0						
	道支出金	0						
	地方債	0						
	その他	0						
	一般財源	3,800	800	800	800	600		
実 績 事 業 費	事業費(千円)	3,095	680	636	583	518		
財 源 内 訳	国庫支出金	0						
	道支出金	0						
	地方債	0						
	その他	0						
	一般財源	3,095	680	636	583	518		
関 連 事 項	(特定財源の詳細等) 【評価・実績】	(実施内容等) ・塗装延長 L=7,390m (塗装総延長 L=18,260 m) ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) ・塗装延長 L=6,340m (塗装総延長 L=15,825m) ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 塗装総延長 L=17,604 m ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 塗装総延長 L=13,902 m ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 塗装総延長 L=14,080 m ※前年度評価結果 A-継続/現状維持		
	第4期総合計画関連 (継続無し)	年度目標値	7,800m	6,340m	17,604m	13,902m	14,080m	
		年度達成率		85%	80%	73%	85%	86%
		全体達成率		18%	35%	50%	68%	81%
		事業進捗状況	☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	

事業名	道路区画線塗装事業	評価者 管理職 職氏名	建設水道課長	佐竹邦夫
		評価者 作成者 職氏名	土木管理係長	田原慎也

平成24年度実施
平成25年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	道路利用者、道路	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	区画線塗装延長	
【抱える課題やニーズは】	舗装道路の安全な通行が保てない。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	車両や歩行者の通行の安全の確保。	① 区画線塗装延長/区画線塗装延長の実績	目標年度	平成24年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	車両や歩行者の通行の安全の確保。		目標値	14,080 m
			実績値	14,080 m
			達成度	100.0 %
		②	目標年度	年度
			目標値	
			実績値	
		達成度	#DIV/0! %	
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	①民間委託により実施	住民生活課予算(住民活動費)と合算し、入札により委託発注し実施した。(H24総委託費:1,418千円)		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	舗装道路の薄くなった中心線や外側線を塗装することは、車両や歩行者の通行の安全を図る上で、町が担う必要がある。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	当該事業を実施したことにより、薄くなった中心線や外側線がはっきり視認でき、交通の安全が図られた。
有効/概ね有効/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	舗装道路の薄くなった中心線や外側線を調査し、必要路線における適切な塗装ができたことは、効率的であると判断する。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

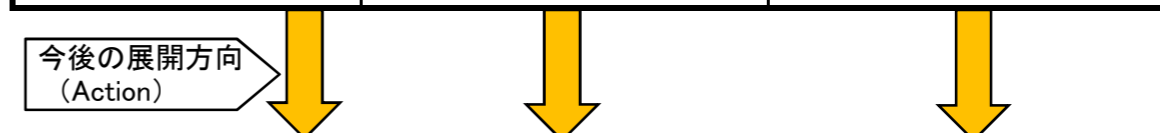
公平	判断の理由	舗装道路の薄くなった中心線や外側線を塗装することで、車両や歩行者の通行の安全が図れたことは、不特定多数の道路利用者に対して公平であると判断する。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
舗装道路の交通安全確保上、中心線や外側線塗装は、今後も計画通り事業を進めることが適当であると判断する。		



継続/現状維持		
舗装道路の中心線や外側線がはっきり視認できることは、交通の安全確保のため必要不可欠であり、継続、現状維持が適当である。		

※展開方向の区分
 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 終了 休止 廃止